

金沢大学 教学マネジメントセンター主催 令和7年度第2回FD・SDラウンジ

「今改めて、学修ポートフォリオの 機能や効果について考えてみよう」

日時：2月17日(火) 10:00～11:50
@Zoomオンライン

趣旨・目的：（当日の内容構成は、裏面をご覧ください）

教学マネジメントセンターでは、時機に応じたテーマを話題に、気軽に参加・意見交換することをコンセプトとしたFD・SDイベントとして、令和6年度より「FD・SDラウンジ」を企画開催しています。

今回のテーマは、「今改めて、学修ポートフォリオの機能や効果について考えてみよう」です。学修ポートフォリオは、2010年代以降、学士課程教育を中心とした学修成果の可視化（特に、DP達成度の可視化）やディプロマ・サプリメントの発行といった機能や効果が話題の中心でした。しかし、近年の大学院教育改革を通して、学生自らの研究活動を表したショーケース・ポートフォリオの機能のほか、「キャリア開発・育成コンテンツによる育成効果の評価」などの必要性から、トランスファラブル・スキル等の達成度の可視化が新たな話題となっています。

このような状況に鑑み、今改めて、学修ポートフォリオの現状や可能性について事項整理しながら、効果的・効率的なシステム構築や具体的な運用のあり方について、議論できたらと考えています。

ご関心のある方は、奮ってご参加いただき、講師の先生と意見交換しましょう。

申込先・申込方法

【対象】大学教職員ほかどなたでも参加可能（無料）

【申込方法】参加ご希望の方は、以下URL又は二次元コードにアクセスし、必要事項を記入の上、2月13日（金）までに申込みください。

参加申込者には、別途、Zoomアドレスをメールにてご連絡します。

（参加申込URL）<https://forms.office.com/r/t750dQxhj5>



【問い合わせ先】学務課学務企画係 E-mail: gakukikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

《構成》

2月17日（火）

10：00～10：10 オープニング

10：10～10：45 講演①

「学修支援システムとしての学修ポートフォリオの機能と効果
～ユーザーインターフェイスを重視した設計を中心に～」

北陸先端科学技術大学院大学

遠隔教育研究イノベーションセンター長・教授

（金沢大学 教学マネジメントセンターアドバイザー）

長谷川 忍 氏



【経歴】

1998年大阪大学基礎工学部卒業、2002年同大学基礎工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。同年、北陸先端科学技術大学院大学情報科学センター助手を経て、2021年同大学遠隔教育研究イノベーションセンター教授、2024年同センター長。遠隔教育・学習環境・大学DXの研究・開発・企画・運用全般、特に主体的学習、認知的スキルの教育・学習支援、学内基盤システムの開発・運用に関する研究に従事。2024年度教育システム情報学会論文賞、2022年度・2024年度教育システム情報学会研究会優秀賞、教育システム情報学会副会長、IEEE E-25 Japan Chapter Vice President、人工知能学会、電子情報通信学会、情報処理学会、教育工学会、IEEE、APSC各会員。

10：45～11：20 講演②

「20年の歴史を誇る九工大「学修自己評価システム」の機能と運用
～学士課程から大学院課程への展開～」

九州工業大学 学習教育センター 副センター長・教授

大石 哲也 氏



【経歴】

2004年より株式会社NTTデータ九州にてシステムエンジニア、2006年より九州大学システム情報科学府にて博士後期課程進学、2010年博士（工学）取得。2013年より同大学 大学評価情報室助教、2017年より東京工業大学情報活用IR室特任准教授、2022年より九州工業大学学習教育センター教授、同年4月より同センターの副センター長、現在に至る。2013年から大学情報・機関調査研究会（MJIR）に関わり、2018年から主幹幹事（2020年は委員長）として3年間MJIRを引率。2019年から日本インスティテューショナル・リサーチ協会（JAIR）の理事、2022年度からは同協会の評議員として、2024年度からは同協会の監事としてIRの普及活動に貢献。

11：20～11：45 意見交換&質疑応答

11：45～11：50 クロージング